

(単位：人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
中央	104	110	103	100	104
大船渡	40	38	31	29	35
釜石	20	24	22	19	20
花巻厚生	18	19	20	19	21
宮古	43	40	38	34	33
胆沢	49	52	44	43	40
磐井	36	39	41	40	39
遠野	11	12	11	9	10
高田	4	6	5	4	5
久慈	42	38	37	34	33
江刺	10	9	9	8	8
千厩	12	12	8	8	8
北上	28	25	28	29	33
二戸	27	28	28	26	30
一戸	14	15	14	12	11
大槌	5	4	4	4	4
山田	3	3	3	3	3
沼宮内	4	4	4	3	3
軽米	5	5	5	5	5
大東	6	5	4	4	4
花泉	3	2	2	1	1
東和	5	4	4	4	3
大迫	3	3	3	2	3
住田	3	3	3	3	2
九戸	4	2	2	1	1
紫波	5	4	3	3	2
南光	14	15	13	13	13
合計	518	521	489	460	474

過去5年間の常勤医師数の推移状況(3月31日基準)(資料提供：岩手県医療局)



阿部幸一議員

## 山田病院

# 内科医師確保の見通し

## 派遣できない厳しい状況

**質問** 県立山田病院内科医師確保の見通しはどうか。

医師がなかなか来ない理由があると思うが、今の体制で果たして良いのか。体制を変えなければ、いくら町で医師確保にかかわる補正予算を計上しても医師は来ないのでは。

**沼崎町長** 以前は、新人医師の多くが母校の大学の医

局に入り、付属病院で研修していた。

ところが、16年度から始まった医師臨床研修制度により、研修先を自由に選べるようになったため、症例数の多い都市部の病院に集中し、地方医大の医局員の人数が大幅に減るようになった。その結果、医大では大学病院の機能を維持す

るだけで精一杯となり、ほかの病院に派遣できなくなっている。

また、超過勤務が多い、当直が多いなどの労働環境の悪化で、退職する勤務医が多くなっている現状もあり、そのことが、県内勤務医の絶対数が不足し、岩手医大でも県医療局でも、山田病院に医師を派遣できないという厳しい状況があるものだと考えている。

## 総務行政

# 8時15分までに出勤する指導を機会あるごとに話している

**質問** 町職員の朝の出勤について、8時15分頃までに役場に入るよう指導すべきでは。

**沼崎町長** 役場の執務時間は、規則により休日を除き午前8時30分から午後5時30分までとなっている。

職員は、8時30分から執務できる体制がとれるよう出勤することが求められるっており、その励行については機会あるごとに職員に話している。また、週のはじめには、各課ごとにミーティ

ングやあいさつ運動の声だしを行うなど、執務規則や接遇向上についても工夫をしながら行っている。

**質問** 朝遅い職員を見てみると家が近い場合が多い。朝早い職員は仕事もできるが、朝遅い職員は仕事もできないと思うが。

**佐々木総務課長** 8時30分から執務できる体制をとることが基本である。執務規律を正す入り口として、朝のあいさつ運動などにも取り組んでいる。

## 町の考えを聞く